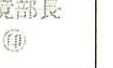


様式 9-3

29.4.01

内部監査報告書

確認	確認	受付	被監査部課			内部監査チーム		
市民協働環境部長 	環境モデル都市推進課長 	環境モデル都市推進課 					内部監査員 	内部監査員 (代表者) 
作成日	平成 29 年 8 月 7 日		被監査課		国県リニア事業課			
監査日時	平成 29 年 8 月 7 日 13 時 00 分～15 時 00 分		被監査者		建設部参事兼課長 奥出 克			
内部監査員氏名	ムトス課長 桑原 隆 人事課長 原田 太仁		相互内部監査員 所属及び氏名		監査員：多摩川精機(株) 沢柳俊之 オブザーバー：吉川建設 村松啓介 吉川建設 鋤柄 全			
指摘区分	章番号	指摘の内容						
マニュアル 7.1 賞賛事項	6.1.1 6.1.2 6.1.3	環境側面に伴う環境影響、順守義務、リスクと機会について、事務事業進行管理表により、各事業ごときちんと評価、整理し記載されている。						
マニュアル 7.2 改善の機会	①是正処置を要する改善の機会（不適合） → 様式9-4「改善の機会対策報告書」作成 ②被監査課に対する改善の提案 → 様式9-4作成不要							
①是正処置を要する改善の機会（不適合） ・是正処置は監査日から2か月以内に完了		なし						
②被監査課に対する改善の提案		【改善提案に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし						
マニュアル 7.3 気づき事項 (軽微な文書上の不備等)		【気づき事項に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし						
マニュアル 7.4 システム提案 (事務局への提案 具体的な解決方法を含む)	4.1 4.2 6.1.1 6.2.1	環境に関する組織の状況等の検討表による、組織の状況、利害関係者のニーズと期待、リスクと機会、また、リスクと機会に関する環境目標の設定も含め、今年度から新たに運用が開始されたこともあり、捉え方、考え方に差がある。市役所全体で考え方を整理する必要性を感じる。						
その他の特記事項		公共工事環境配慮手順に基づき設計時と竣工時に評価を行っているが、更に手順書を含め環境配慮への取組が有効活用されるように検討されたい。（但し、工事施工担当課すべてが共通認識することが必要）						
市民協働環境部長 処理欄	賞賛事項の水平展開	指示	確認					
	要 ☒ 否 ☐	市民協働環境部長 	環境モデル都市推進課長 					

【注】 1 内部監査員は、監査実施後7日以内にチームリーダーに報告します。

2 この環境記録は、市民協働環境部長、事務局の確認後、各課で保管します。